太田一高資料館(旧茨城県立太田中学校講堂)を一般公開します。

毎年恒例の太田一高資料館一般公開の時期になりました。(震災後は平成 26 年より再開)
本校資料館の見所は次の３点です。

１　完成から 113 年を迎える国指定重要文化財
・東京駅丸ノ内駅舎を設計した辰野金吾(たつのきんご)の弟子，駒杵勤治(こまきねきんじ)が設計し，113 年前（東京駅に先立つこと 10 年）に完成。（天井の作りなど共通点有り）
・講堂は，普通教室とは異なる学校における晴れの場として，外観内装ともにそれにふさわしい作りとなっており，本校資料館は旧制中学の講堂としては貴重な遺構。

２　完成以来本校の歴史を見守ってきたシンボル
・平成２年に本校資料館として整備され，卒業生から寄せられた貴重な品々等を展示震災後，展示内容を改め,「資料館が見守った青春―太田一高 110 年の歴史」として，明治・大正・昭和の学生生活の様子を知ることができる。

３　一般公開にともない，本校所蔵の貴重な美術品を公開
・徳川光圀が生母の十七回忌にあたり創建したお寺の『旧久昌寺絵図』をはじめ，『西山荘御間取図』，東京美術学校に学んだ横山大観の『笹に蛙』などを展示。

記

１　日時　平成 29 年 10 月 18 日（水）～10 月 22 日（日）
　　午前 10 時～午後 3 時

２　場所　太田一高資料館（旧茨城県立太田中学校講堂）
　　常陸太田市栄町 58　　Tel　0294(72)2115

＊期間中，講堂として使われていた様子を味わっていただきたく，ご好評を得ているミニコンサートを今年も予定しております。

チェロ	10 月 20 日（金）	12:30～	14:00～
(ピアノ伴奏)	10 月 21 日（土）	11:00～	14:00～